

令和4年度第1回豊明市地域公共交通会議 議事録
 (豊明市地域公共交通活性化協議会合同会議)

日時 令和4年7月1日(金) 午後2時30分から午後4時00分まで
 場所 豊明市役所新館4階 第1委員会室
 出席者 22名

名鉄バス(株) 大野委員	中部運輸局愛知運輸支局 山内委員
東名交通(株) 江口委員	愛知県交通運輸産業労働組合協議会 永井委員
(株)豊明交通 外山委員	愛知県都市・交通局交通対策課 大林委員 (代理 江崎氏)
(株)あんしんネットなごや 天野委員 (代理 正木氏)	愛知県警察署交通課 坂井委員 (代理 青木氏)
名古屋タクシー協会 多田委員	名城大学理工学部 松本委員
(公社)愛知県バス協会 小林委員	豊明市経済建設部 伊藤委員
名古屋市交通局自動車部 清水委員	豊明市健康福祉部 中村委員
名古屋鉄道(株) 川本委員 (代理 伊藤氏)	刈谷市都市政策部都市交通課 豊永委員 (代理 竹林氏)
市民公募委員 西谷委員	東郷町企画部未来プロジェクト課 磯村委員
豊明市女性の会 大澤委員	大府市都市整備部都市政策課 福島委員
豊明市中心身障害者(児)福祉団体連合会 松村委員	(株)アイシン 加藤委員 (代理 杉山氏)

欠席者 2名

豊明市老人クラブ連合会 川村委員	愛知県尾張建設事務所維持管理課 吉金委員
---------------------	-------------------------

事務局 豊明市役所 行政経営部 企画政策課
 傍聴の可否 可
 傍聴の有無 有(2名)

議 事

【協議事項】

- (1) 令和3年度事業報告及び歳入歳出決算報告について
- (2) 豊明市地域公共交通網形成計画の評価等について
- (3) ひまわりバス停留所の移設について

【報告事項】

- (1) 令和4年度豊明市地域公共交通計画に関する事業計画について
- (2) 豊明高校イラストレーション部との連携企画について
- (3) タクシー事業者との連携（不審者情報等の連絡）について

議 事 内 容

※内容（要旨）では、チョイソコとよあけを「チョイソコ」と記載しています。

1 副市長あいさつ

2 委嘱状交付

- 会長選出（松本委員を会長に選任）
- 副会長選出（伊藤委員を副会長に選任）
- 監査委員選出（大澤委員と松村委員を監査委員に選出）

3 会長あいさつ

4 議題

【協議事項】

- (1) 令和3年度事業報告及び歳入歳出決算報告について（資料1-1、1-2）
【事務局説明及び監査委員による監査報告】

【会長】

ガバメントクラウドファンディングとは何か。

【事務局】

ガバメントクラウドファンディングは、クラウドファンディングという言葉を知ったことがあると思いますが、その呼びかけを自治体が行い市の事業や施策に対して共感を持った方にご寄附をいただくというものです。今回は、チョイソコ事業に対して共感を持った皆様にご協力くださいといった内容でクラウドファンディングを実施させていただきました。豊明市民だけでなく県外の方からも、多くのご寄附をいただきました。

【会長】

これは、ひまわりバスについても同じようにやれるのですか。

【事務局】

市が実施している事業について、クラウドファンディングをすることは可能ですが、ご寄附いただくには共感いただきやすいテーマでクラウドファンディングをする必要があると思います。公共交通でよく見られるのは、もうバス路線を廃止しなければならないような危機的な状況にある場合、それを助けてくださいといった内容で、クラウドファンディングをやっているような自治体は複数あります。

【委員】

共感ということですが、今回のチョイソコのクラウドファンディングに関して、キャッチコピーやメッセージをどういったものでされたのか教えていただけますか。それと、ガバメントということなので、活性化協議会ではなくて市の歳入となっているということですね。

【事務局】

- ・キャッチコピーは、「全国初導入、チョイソコで通院や買物等の移動に困る高齢者を救いたい」といったキャッチコピーで事業内容を掲載して、寄附を募り、合計で23名の方から御支援をいただいております。
- ・二つ目の質問ですが、委員のおっしゃるとおり、ガバメントクラウドファンディングは自治体が主体となっておりますので、市の歳入になります。

【委員】

クラウドファンディングは非常に良いことだと思いますが、この106万円というのは市の収入に計上されるということで、使用方法は実際にはどうなるのですか。協議会の事業ではないので決算には上がってこないですが、収入としてそのお金は一体どこへ行ったのかは明らかにされないのでしょうか。

【事務局】

ガバメントクラウドファンディングでご寄附いただいた分については、ふるさと納税の寄付として市の歳入に計上しております。

【会長】

そのほか、いかがでしょうか。
特にご異論ないようございますので、ご承認いただくということによろしいでしょうか。
(異議なし)
ありがとうございました。

協議事項（２）豊明市地域公共交通網形成計画の評価等について**【事務局説明】****【会長】**

昨年度の1年間、それからこの網形成計画の5年間、すべてを振り返った評価ということで、ご質問ご意見等ございましたらお願いしたいと思いますが、いかがでしょうか。

【委員】

- ・チョイソコについては、設計から関わってきましたが、資料2追加は、(株)アイシンさんが作られたのかなというふうに思いますが、市と(株)アイシンの連名になっています。民間企業が事業主体となるということで、豊明市の公共交通と位置づけて4条乗合運行が始まったということで、全国にこの動きがかなり広まっているというのが一つあります。
- ・愛知県内の市町でも、近々こういうものを本格的に検討しようという動きが現実にございます。他市の公共交通会議の委員になっておりますので、そこで発言をさせていただいたことを少しご披露させていただきたいと思っております。民間企業が事業主体とは言いつつも、民間企業の(株)アイシンさん、豊明市と、それを運行するタクシー事業者の責任や役割というものを明確にしてくださいということをお願いしました。この資料を見ると、その部分が欠落しているように思えて仕方ないものです。多くの市町でこれから検討が進んでいく中で、間違った認識を持っていただくと非常に困るので、行政と民間企業と、運行事業者、そういったところの関係性を、もう少し明確に資料の中に落とし込んでいただくということを、ぜひご検討していただきたいと思います。

【事務局】

委員のおっしゃるとおり、自治体によって様々な運行形態がありますが、豊明では市と(株)アイシンと運行事業者のあんしんネットなごやの三者で協定を結んでおり、それぞれ役割を明記しています。視察等で色々な自治体にお越しいただきますが、その際には協定書があり、それぞれ役割分担を決めていますというのは、説明させていただいております。この会議の資料の中でも、スキームや役割分担について、今後しっかりと記載していきたいと思っております。

【会長】

今後、資料をまとめるときには、本当に重要だと思っておりますので、三者の役割分担がどのような形で行われているかというのをぜひ明記いただければと思います。他の自治体にとっても非常に参考になる部分だと思っておりますので、記載をお願いしたいと思います。

【委員】

アンケートの中で、乗継について鉄道とバスの不満割合が約40%で減っていないというお話でしたが、これについては何か理由や原因はありますか。

【事務局】

- ・資料2-2の中の乗継の不満の内容としては、アンケートでも色々な意見がありましたが、例えば、若い人は、乗継時間なるべく短く、次の交通機関に乗換ができるような形の時間がいいなという方もいらっしゃるが、高齢者の方には、階段の上り降り等で、やはりちょっと時間がかかってしまいます。利用者の方によっても乗継時間のベストな時間というのは、やはり異なるのかなと思います。
- ・他にもアンケートの意見では、渋滞があるとバスの到着時間が遅れて、乗継が間に合わないなどの意見が多くみられました。
- ・乗継10分以内の本数は目標を達成していますが、利用者の実感としては、やはりもっとスムーズな乗継をしたいという意見だと思われそうです。ただし、乗継の待ち時間というのは必ず発生しますので、例えば前後駅のバス待合所で、ストレスなく待合ができるような環境整備というのものもあるかと思っております。まずは、できることからの取組として、待合所を少し楽しいような環境にしていけたらいいなと思います。

【委員】

私も、その点が気になっていました。年齢層によって、乗換に必要な時間が違うということだと思ふ。年齢だけでなく、お買物利用した方は、両手に荷物を持たれていますし、駅の構造や環境というのも関係してくると思います。乗継環境や乗継時間についても、こういうことをご理解いただけますかといった形で、目的や仕組み、このような乗継環境になっていきますという説明もあっていいかなというふうには感じております。

【会長】

今後、アンケート調査等を行うときに、あるいは場合によっては、こういう形で乗継ができるようにしています、といったことを分かりやすくお伝えするというのも検討いただければと思います。

【会長】

- ・まずは、前年の評価ということで振り返りました。評価結果はほぼマルということですが、対前年度比の評価ということで結果こうなっております。それだけ一昨年がコロナの影響で非常に悪かったということでもあります。
- ・それから、チョイソコの実績ということで、もちろんこういった状況の報告もありがたいのですが、果たして今のチョイソコで困っている人はいないのだろうか、というところの確認も必要だと思っています。予約不成立の人がどれくらいあり、本当にチョイソコの車両が今の台数で回っているのだろうかとかですね。あるいは、特定の人だけが毎日利用していて、他の人が利用できないような独占状態が発生していないかとかですね。そういう確認もすべきだと思っていますので、今後、公共交通としての利用がしっかりされているのかといった視点での評価というのもお願いしたいと思います。
- ・資料2-2は、全体の評価ということで、事務局からも説明がありましたが、新型コロナの状況下だからどうしても利用者数に関しては軒並み減少ということでやむを得ないところがあることは委員の皆様も御理解いただけると思います。満足度に関しては、新型コロナばかりが理由ではありませんので、委員からもございましたが、やはり一つずつ、やれることを引き続きやっていく必要があるだろうと思います。
- ・資料2-3がそれをまとめたもので、国に提出しますので、確認を皆様にいただきたいということでもあります。そして2-4は全体のまとめということでございますが、いかがでしょうか。

【委員】

- ・チョイソコの資料の中で、予約時間の2日以上前や当日というような記載があります。これは、この期間全体を通してだと思いますが、例えば、初めのうちは直近が多くてとか、どんどん定着してきたことで2日以上前が多くなってきたとか、何かそういう傾向はあるのでしょうか。つまり、予約をした時期などが特定の時期に集中しているということを利用者に知れ渡ってきたのかという視点です。
- ・もう一つは、利用される方の状況によっては、1日は買物、1日は通院、1日は何か他のお出かけもあるかもしれないので、そういった利用の目的によっても違って来るかなというふうには感じており、そういったものを、今後捉えられるのかどうなのかという点です。

【事務局】

- ・まず予約時期の割合ですが、資料にはありませんが、当日の1時間未満の部分の推移をみますと委員のおっしゃられるとおり、導入当初は、やはり当日予約の割合というのが比較的多かった傾向があります。今この表は全期間で示していますが、令和2年度までは当日予約の割合が23.5%ありましたが、令和3年度は、この割合が20.3%に減少しています。傾向としては、徐々にチョイソコが利用者に浸透してきて、早めに予定を立てて予約していこうという流れが見えてきたのかなというふうに思います。
- ・二つ目の質問ですが、目的別の行き先の傾向については、この資料の12ページをご覧くださいと利用回数の目的別内訳という表があります。やはり生活移動として必要な医療機関や買物というのが多く、8割を占めていますが、他にも文化や運動といったようなカテゴリもございます。今、高齢者の外出促進を目的にして、様々なイベントやコトづくりを行っています。文化・運動などを目的とした移動を今後いかに増やしていくかが、チョイソコの一つ大きな課題ではあるかと思えます。

【会長】

- ・今、事務局が言われたのはすごく大事なことで、いわゆる地域公共交通として生活に必要なお出かけを支えようとする、病院、通院と買物となりがちなのですが、私は「have to do」と呼んでいます、しなければならない移動、それは最小限支えていかないといけないと思っていますが、そうではなくて、チョイソコのように民間の方々にもやっていただけるということであれば、「want to do」の行きたい、やりたい、それを実現するような公共交通が出来てくるというのは非常に良いことだと思います。今、事務局が言われたように文化・運動が増えていくというのはすごく望ましい姿だなと思っています。そういう視点でこれからも進めていただければよろしいのではないかなと思っています。公共交通、車を使わないでも、「want to do」でやりたいことがやれる、そういう地域は本当に素晴らしいことです。そういうのを目指してもらえればなと思っています。
- ・その他いかがでしょうか。
よろしいですかね。それでは資料の作り方等々のご意見ございましたので、これは今後で結構です。そういったところの資料の作り込みをお願いしたいと思います。その他に関してこの評価内容がご異論なかったと思いますので、このような形の評価とさせていただきます。よろしいでしょうか。（異議なし）
- ・ありがとうございました。ではこのような評価とさせていただきます。

協議事項（3）ひまわりバス停留所の移設について

【事務局説明】

協議事項（3）について、意見等なく委員の承認を得た。

報告事項（1）令和4年度豊明市地域公共交通計画に関する事業計画について

【事務局説明】

報告事項（1）について、意見等なし。

【会長】

それでは、このような形で進めさせていただくとともに、途中で臨時の協議が必要な場合があれば、会議の開催をさせていただくことと、それからコロナの状況に応じてぜひ利用促進しっかり進めていただければと思います。

報告事項（２）豊明高校イラストレーション部との連携企画について

【事務局説明】

【会長】

すばらしい取り組みですね。まず地域の高校生と一緒に協働で取組むということは、公共交通を支える仕組みで地域とともに支えていく一環でもありますし、この高校生達にとってのお披露目の場にもなるということで高校生にとっての励みにもなるのだらうなと思います。大変だとは思いますが、この運用等は、ぜひこれからも続けていただければと思います。

【委員】

情報発信はどのように周知していますか。その若者の中でのコミュニティーもあるかもしれないし、こういうイラスト等が好きな人たち同士のコミュニティーもあるかもしれないので、そういったものを活かせるような発信っていうのはいかがでしょうか。

【事務局】

周知の方法としては、市のホームページに掲載しているのもありますが、近日、SNSにも掲載する予定です。Twitterやインスタグラム等です。内容と写真で見ていただくのが1番伝わりやすいと思いますので、そのような形で周知していきたいと思っています。

【会長】

行政のSNSを若者がどれくらい受け取っているのか分かりませんが、イラストレーション部のSNSで広げてもらうこともできるのですよね。

【事務局】

イラスト部の周知というよりも、SNSに掲載する際にハッシュタグを付けると、SNSで検索したときに同じキーワードを打ち込むと表示されるようになります。実際にどういうハッシュタグをつけるか決まっていますが、若い人たちが検索しやすいようなキーワードのハッシュタグを付けると、拡散しやすいのかなと思っています。

報告事項（３）タクシー事業者との連携（不審者情報等の連絡）について

【事務局説明】

【委員】

今事務局から説明がありましたように、事前にそういった連携のご相談をいただきました。タクシーは、豊明市を昼夜問わず走っており、色々な意味では防犯というのは大事です。比較的身近なところにありますので、微力ですが、ぜひ協力したいと思っています。

【会長】

そういうタクシーの活用もあるのだなと思います。それが安心につながれば言うことないですよ、素晴らしいと思います。

【委員】

- ・今タクシー事業者からご発言ありましたが、非常によろしいことだなということで、協会としてもそれは歓迎をしたいと思います。それで、ここから先はお願いになります。
- ・今、名古屋タクシー協会は、名古屋市と愛知県と防災に関する緊急協定の締結をしております。これは災害救助法が適用されるという前提で、何か事象が発生した場合に、タクシーがどういことをやったらいいのかという話なのですが、一つは、愛知県というものがあって、そこに対して豊明市がどうい関わり方になるのか一旦整理しないといけないとは思っています。愛知県の指示だけでなく、豊明市として、緊急輸送にどう対応したらいいのかを、ぜひ考えていただきたいと思います。とは言っても、タクシーの輸送量は微々たるものですので、そこで何を優先するのか。お年寄り、体の不自由な方、こういう方々を優先するというのが、今のタクシー協会の方針です。

本当に大地震があったときに、現場まで行けるのはタクシーです。東北の震災の時でも色々なところでタクシーが活躍しておりますので、ぜひそういったことをタクシー会社と今後の方向について詰めていただければと思いますので、よろしくお願いたします。

【事務局】

- ・今委員からおっしゃっていただいたように、今回は、不審者情報についての運用を開始しますといった報告ですが、それ以外にも高齢者の徘徊や詐欺なども多く発生しています。また、南海トラフの地震など災害の恐れというのもあります。市の防災・交通の部署とタクシー事業者とどうい連携ができるか相談していきます。
- ・また、愛知警察署の生活安全課とも相談しながら、今後は様々な分野で連携できるように、協定の締結を含めて検討していきたいと思います。その際には、タクシー事業者の皆様やタクシー協会にもご協力いただきながら、検討を進めていけたら良いと思っています。

【会長】

いざというときにタクシーというのは最重要な移動手段になるのは間違いありません。台風の時もそうです。運休でバスや鉄道が止まってしまうと、タクシーしかないですよ。そういうこともありますので、ぜひ市としても協定を結びながら、どのようなことをやっていただけるかを事前に検討いただくといいですね。ぜひこういった新しい取組は、これからどんどん進めていただければと思います。

5 その他

(1) Cent X (セントエックス) について

【名古屋鉄道(株)より説明】

以上